

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 天羽 正継	(学部) 経済学部
1 重要事項 (1) 研究成果 ・「日本の予算制度におけるシーリングの意義―財政赤字と政官関係」井手英策編著『危機と再建の比較財政史』第7章，ミネルヴァ書房，2013年6月。 (概要：極めて厳格なシーリング予算を有しながら、なぜ先進諸国の中で日本のみが巨額の政府債務残高を抱えるに至ったのかという問題意識から、その歴史的な変遷を、与党や官僚制度との関係に着目しつつ追った。その結果、旧大蔵省は与党である自民党に対抗して、マクロ的予算編成への統制を強化するためにシーリングを強化していったが、その対象は一般会計の当初予算に限られていたため、それ以外の予算から財政赤字がもたらされていったことが明らかとなった。) ・「国債累積を支える金融メカニズム」持田信樹・今井勝人編著『ソブリン危機と福祉国家財政』第9章，東京大学出版会，2014年3月（井手英策との共著）。 (概要：空前の規模の政府債務残高を抱えながら、なぜ日本の国債価格と金利は安定し、財政危機に陥らないのかという問題意識から、国債管理政策に焦点を当てつつ、政府債務残高を支える金融的な条件について分析した。その結果、主として所得収支の伸びに支えられた経常収支のプラス、日銀をはじめとする各種金融機関による積極的な国債買入れ、世界金融危機後に海外投資家が日本国債を安全資産として買い入れたことなどが、その要因として浮かび上がった。) (2) 進行中の研究 明治初期における地方債制度の形成過程を明らかにするべく、国立国会図書館所蔵のマイクロフィルムの複写を行うなど、資料の収集に努めた。現在、それらの資料を用いて論文を執筆中である。 (3) ホームページの開設 ホームページを開設し、そこに授業の講義資料をアップすることで、受講者が過去のものも含めた講義資料を入手しやすい環境を整えた。 ホームページ URL： http://www1.tcue.ac.jp/home1/m-amou/index.html (4) 地域活動 2013年12月21・28日に放送されたラジオ高崎『ラジオゼミナール』に出演した（テーマ：日本の国債と財政赤字の現状）。	
2 その他の事項 ・学外での活動 東京大学経済学部・地方公共団体金融機構寄付講座フォーラム運営委員会事務局長として、第2回シンポジウム『地方債市場の展望』（2013年9月17日）の開催に携わった。	